

2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年1月30日

上場会社名 J B C Cホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9889 URL <https://www.jbcchd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東上 征司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理担当 (氏名) 浅利 信治 TEL 03-6262-5733
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	52,393	6.3	4,706	36.0	4,887	36.6	3,373	35.1
2024年3月期第3四半期	49,280	14.8	3,461	16.9	3,576	16.2	2,496	17.9

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,477百万円 (31.7%) 2024年3月期第3四半期 2,640百万円 (27.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	217.51	—
2024年3月期第3四半期	158.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	38,785	23,184	59.8
2024年3月期	37,207	21,178	56.9

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 23,184百万円 2024年3月期 21,178百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	40.00	—	54.00	94.00
2025年3月期	—	53.00	—		
2025年3月期（予想）				71.00	124.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,500	2.0	5,800	31.1	5,900	29.7	4,100	28.6	264.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	17,773,743株	2024年3月期	17,773,743株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	2,244,127株	2024年3月期	2,286,168株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	15,509,286株	2024年3月期3Q	15,719,747株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足資料について)

決算補足資料は、T D n e t への登録および当社ウェブサイト同日掲載しています。

(URL : <https://www.jbchd.co.jp/ir/library/presentation/index.html>)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、今期より3カ年の中期経営計画「CHALLENGE 2026」（2025年3月期～2027年3月期）をスタートしました。注力事業をクラウド、セキュリティ、超高速開発の3事業に洗練・集約して事業構造変革を加速するとともに、データ&AIを活用した新たな価値創造に挑み、継続的な成長と高い収益性の実現を目指します。

当社グループのお客様においては、クラウドファースト（クラウド利用を最優先とする考え方）でのIT環境やシステムの検討が進んでいます。複雑化するIT環境や働き方の多様化など、企業の様々なニーズに柔軟に対応するためマルチクラウドに対応したクラウド、セキュリティのサービスとソリューションを展開し、企業のクラウド活用を促進しています。クラウド、セキュリティのクロスセルや、最適なサービスを組み合わせ合わせた全体提案の推進が案件の大型化につながり、ストックビジネスの受注が拡大しました。

超高速開発は、大型案件を含む複数の開発プロジェクトが進行しており、引き続き前期末に遅延が発生したプロジェクトの対応に専念しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高52,393百万円（前年同期比6.3%増）、営業利益4,706百万円（同36.0%増）、経常利益4,887百万円（同36.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,373百万円（同35.1%増）となりました。注力事業であるクラウド、セキュリティが売上高および利益成長を牽引し、中間期に続き前年同期比で増収増益を達成しました。通期業績予想に対する進捗率は、売上高78.8%、営業利益81.2%と好調に進捗しており、当連結会計年度も過去最高益での継続成長を見込んでいます。

事業分野別の概況は、以下の通りです。

【情報ソリューション】

情報ソリューションは、システム開発（SI）、サービス、システムの3つに分類し、注力事業であるクラウド、セキュリティ、超高速開発を中心にビジネスを展開しています。

・システム開発（SI）

超高速開発については、先行したローコード開発への取り組みと480件を超える導入実績から案件規模が大型化し、前期末に一部のプロジェクトで遅延が生じました。中間期に続き人的リソースの集中投入と体制の強化、適切なプロジェクトマネジメントに注力し、業績にマイナス影響を与えていた主要プロジェクトを完了しました。現在、二桁を超える基幹刷新プロジェクトが進行中であり、これらのプロジェクト対応に集中するとともに、中期経営計画の重点施策であるマイクロセットサービスへの取り組みを進め、着実なプロジェクトの完遂を目指します。大型の基幹刷新プロジェクトの新規受注は、来期後半以降を予定しています。

・サービス

クラウドについては、前期後半に発表されたVMware製品（仮想化ソフトウェア）のライセンス価格の高騰を背景に、VMwareを利用するオンプレミス環境からクラウドへの移行提案を推進しています。コスト削減および最適構成での継続運用支援という高い付加価値により移行提案が進捗し、大型案件の受注につながりました。SaaS領域は市場成長率の高いMicrosoft 365、kintone、オンラインストレージ（Dropbox）が順調に伸長しました。とりわけMicrosoft 365については、顧客の契約更新が集中する当四半期に利活用促進のワークショップを積極展開し、マネージドサービスの受注が拡大しました。第4四半期も契約更新の集中を見込んでおり、引き続き新規顧客の獲得および既存顧客のアップセルを図ります。

- 中堅・大手企業向け「kintoneステップアップ伴走サービス」を発表（2024年12月発表）

<https://www.jbcchd.co.jp/news/2024/12/17/110000.html>

- 運用付きクラウドサービス「EcoOne」のコスト最適化機能を強化（2024年11月発表）

<https://www.jbcchd.co.jp/news/2024/11/20/110000.html>

- J B C C、Dropbox社のPartner Award 2024受賞（2025年1月発表）

<https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/01/21/110000.html>

- [導入事例] 江ノ島電鉄のDX基盤をMicrosoft Azure、Microsoft 365で実現（2024年10月発表）

<https://www.jbcchd.co.jp/news/2024/10/15/110000.html>

セキュリティについては、昨今のサイバー攻撃による深刻な被害の報道を受け、お客様の関心と投資意欲が高まっています。Attack Surfaceなどのクラウドセキュリティや脅威の検知・対応など、市場成長率と収益性の高いセキュリティの注力領域が伸長しました。中間期に続き、サイバー攻撃を受けた企業からの調査・復旧依頼が増加しており、高度技術エンジニアを中心にセキュリティインシデントへの対応力が評価され、包括的なセキュリティ対策の受注につながっています。J B C C株式会社は、国内中堅企業へのセキュリティサービスの販売実

績により、世界的なサイバーセキュリティのリーダー企業であるパロアルトネットワークス社より2024年度 Partner of the Yearを受賞しました。

- J B C C、パロアルトネットワークス社のCommercial Market Acceleration Partner of the Year受賞（2025年1月発表） <https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/01/23/110000.html>
- [導入事例] 株式会社 G Sユアサ Attack Surface診断サービスを採用、IT資産のリスク可視化と最適なセキュリティ運用を実現 <https://www.jbcc.co.jp/casestudy/solution/sec/gs-yuasa.html>

・システム

ハードウェアやソフトウェアの販売を行っており、お客様のクラウド利用への移行に伴い、中長期では縮小傾向にあります。前期より増加傾向にあったハードウェアの刷新需要が安定し、当四半期においては予想通りの進捗となりました。

以上の結果、情報ソリューションの売上高は、50,949百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

【製品開発製造】

製品開発製造は、当社グループ独自のソフトウェアやクラウドサービスの開発、およびプリンターなどの情報機器の開発・製造を行っています。ソフトウェア分野においては、国内の主要な業務系SaaSにデータ連携機能を提供する「Qanat Universe」、サイボウズ社のkintoneの機能を拡張するプラグインセット「ATTAZoo+」を主力サービスとしてビジネスを展開しており、堅調に推移しました。プリンター類のハードウェアは、引き続き縮小傾向にあります。

- kintoneとFUJIFILMのクラウドサービスをQanat Universeで連携、帳票発行業務を効率化（2024年12月発表） <https://www.jbcchd.co.jp/news/2024/12/02/110000.html>
- ATTAZoo+、ユーザーレビューサイトにおいて14期連続受賞（2025年1月発表） <https://www.jbcchd.co.jp/news/2025/01/17/140000.html>

以上の結果、製品開発製造の売上高は1,443百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

[事業分野別の状況]

(単位：百万円)

			2024年3月期 第3四半期 連結累計期間	2025年3月期 第3四半期 連結累計期間	前年同期比
情報ソリューション	システム開発 (SI)	売上高	13,666	12,429	△9.1%
		売上総利益	4,619	3,581	△22.5%
		%	33.8%	28.8%	
	サービス	売上高	24,370	28,527	+17.1%
		売上総利益	7,001	8,838	+26.2%
		%	28.7%	31.0%	
	システム	売上高	9,755	9,992	+2.4%
		売上総利益	2,137	2,142	+0.2%
%		21.9%	21.4%		
合計	売上高	47,792	50,949	+6.6%	
	売上総利益	13,759	14,562	+5.8%	
	%	28.8%	28.6%		
製品開発製造		売上高	1,488	1,443	△3.0%
		売上総利益	976	911	△6.7%
		%	65.6%	63.1%	
合計		売上高	49,280	52,393	+6.3%
		売上総利益	14,735	15,473	+5.0%
		%	29.9%	29.5%	

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,578百万円増加し、38,785百万円となりました。これは主に現金及び預金が2,521百万円増加、受取手形、売掛金及び契約資産が272百万円増加した一方、商品及び製品が1,951百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ428百万円減少し、15,600百万円となりました。これは主に賞与支払いにより未払費用が2,116百万円減少した一方、契約負債が764百万円増加したことによるものです。なお、受注損失引当金が72百万円減少となり、今後大きな増減はないと見込んでいます。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,006百万円増加し、23,184百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益により3,373百万円増加した一方、配当金の支払いにより1,659百万円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、2024年10月31日の「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」で公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,902	12,424
受取手形、売掛金及び契約資産	13,306	13,579
商品及び製品	3,137	1,186
原材料及び貯蔵品	250	332
その他	3,233	3,892
貸倒引当金	△93	△93
流動資産合計	29,737	31,321
固定資産		
有形固定資産	1,645	1,525
無形固定資産	378	336
投資その他の資産		
投資有価証券	2,646	2,749
その他	2,825	2,879
貸倒引当金	△26	△27
投資その他の資産合計	5,446	5,601
固定資産合計	7,469	7,463
資産合計	37,207	38,785
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,912	4,728
未払費用	4,735	2,619
未払法人税等	887	1,087
受注損失引当金	74	1
訴訟損失引当金	-	25
その他	4,629	6,359
流動負債合計	15,238	14,821
固定負債		
退職給付に係る負債	14	7
資産除去債務	635	632
その他	140	139
固定負債合計	790	779
負債合計	16,028	15,600
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,713	4,713
資本剰余金	5,103	5,209
利益剰余金	14,027	15,746
自己株式	△3,518	△3,441
株主資本合計	20,325	22,228
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	859	991
為替換算調整勘定	△8	△35
退職給付に係る調整累計額	0	0
その他の包括利益累計額合計	852	956
純資産合計	21,178	23,184
負債純資産合計	37,207	38,785

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	49,280	52,393
売上原価	34,545	36,919
売上総利益	14,735	15,473
販売費及び一般管理費	11,274	10,766
営業利益	3,461	4,706
営業外収益		
受取配当金	57	69
持分法による投資利益	9	—
受取保険料	46	77
その他	30	56
営業外収益合計	142	203
営業外費用		
支払利息	9	9
支払手数料	9	9
その他	9	4
営業外費用合計	27	23
経常利益	3,576	4,887
特別利益		
投資有価証券売却益	91	25
特別利益合計	91	25
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	—	25
特別損失合計	—	25
税金等調整前四半期純利益	3,668	4,887
法人税等	1,171	1,513
四半期純利益	2,496	3,373
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,496	3,373

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	2,496	3,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	133	132
為替換算調整勘定	2	△27
退職給付に係る調整額	7	△0
その他の包括利益合計	143	103
四半期包括利益	2,640	3,477
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,640	3,477

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報ソリューション	製品開発製造	計		
主要な財又はサービス					
S I	13,666	—	13,666	—	13,666
サービス	24,370	—	24,370	—	24,370
システム	9,755	—	9,755	—	9,755
製品開発製造	—	1,488	1,488	—	1,488
売上高合計	47,792	1,488	49,280	—	49,280
顧客との契約から生じる収益	47,792	1,488	49,280	—	49,280
その他の収益	—	—	—	—	—
売上高					
外部顧客への売上高	47,792	1,488	49,280	—	49,280
セグメント間の内部 売上高又は振替高	114	575	690	△690	—
計	47,906	2,064	49,971	△690	49,280
セグメント利益	4,465	59	4,525	△1,063	3,461

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,063百万円には、セグメント間取引消去△5百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,058百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 主要な財又はサービスの内容は下記の通りです。

S I…当社グループ独自の開発手法「J B アジャイル」を取り入れた超高速開発を中心としたシステム開発
サービス…クラウドやセキュリティサービスを中心としたITシステムの構築・運用・保守サービス
システム…ハードウェア及びソフトウェアの販売

製品開発製造…クラウド連携プラットフォーム等、独自のソフトウェアや生産管理システムの開発・提供及びプリンター等各種ハードウェアの製造・販売

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報ソリューション	製品開発製造	計		
主要な財又はサービス					
S I	12,429	—	12,429	—	12,429
サービス	28,527	—	28,527	—	28,527
システム	9,992	—	9,992	—	9,992
製品開発製造	—	1,443	1,443	—	1,443
売上高合計	50,949	1,443	52,393	—	52,393
顧客との契約から生じる収益	50,949	1,443	52,393	—	52,393
その他の収益	—	—	—	—	—
売上高					
外部顧客への売上高	50,949	1,443	52,393	—	52,393
セグメント間の内部 売上高又は振替高	149	429	579	△579	—
計	51,099	1,873	52,972	△579	52,393
セグメント利益	5,631	112	5,743	△1,037	4,706

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,037百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,034百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 主要な財又はサービスの内容は下記の通りです。

S I…当社グループ独自の開発手法「J B アジャイル」を取り入れた超高速開発を中心としたシステム開発
 サービス…クラウドやセキュリティサービスを中心としたITシステムの構築・運用・保守サービス
 システム…ハードウェア及びソフトウェアの販売
 製品開発製造…クラウド連携プラットフォーム等、独自のソフトウェアや生産管理システムの開発・提供及びプリンター等各種ハードウェアの製造・販売

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	301百万円	236百万円
のれんの償却額	24	24